



岸川 弘文 議員

荒廃園の課税はどうなっているか

市長 正確な状況把握に努めていく



▲荒廃している農地

答 今日雇用形態は、アウトソーシングが増え、国の制度を今一度見直すべき時期に来ている。今後の取組みとして職安や県との情報の連携により、農林水産業を含め緊急雇用創出が実現するよう準備していく。

問 農村社会の労働力不足などにより、年々農地が荒廃し、現況は、荒廃園になっているのに、なぜ農地課税を行っているのか。

また課税客体の把握確認は、どのような方法によって調査しているのか。

答 固定資産評価基準は、土地の現況及び利用目的に重点を置き、基本的には現況調査により行っている。

山間部の農地の現況把握は難しいが、農業委員会が行っている農地現況調査と照合しながら、正

確に状況把握に努めていく。

問 緊急雇用対策は安定する長期雇用を

急激な経済状況の悪化を受け、市の緊急雇用計画は、国の制度と連動したもので失業者は、長期雇用を求めている。市の計画は抜本的な雇用対策の概念からかけ離れたもので、地方分権社会に相応しい方法で、職業訓練などをメニューに入れ、将来の正規就労に継いでいくよう雇用の受け皿を整備する必要がある。



香月チエミ 議員



▲仲間と元気にプレー

後期高齢者医療制度で保険料の変化の傾向は

市長

今年度は軽減割合の拡大などで影響は限定的

問 膨れ上がる医療費の抑制は大きな問題だが、高齢者の数は今後増加を続け、医療にかか

るリスクも比例していく。高齢者をひとくりにした後期高齢者医療制度は様々な問題がある。

- ①市民の反応、苦情など。
- ②保険料の滞納状況は。
- ③制度のスタートに伴う保険料の変化の傾向は。
- ④75歳以上の医療はどう変わったか。
- ⑤佐賀県後期高齢者医療

答 ①制度がスタートした平成20年4月中に、苦情件数は約950件。保険証が届いていない、保険料の算定方法が不明、年金からどうして保険料を引くのかなど。

②2月現在滞納者の実人数100名、滞納額158万2,300円。12月末までの収納率97・8

その他の質問

○緊急雇用対策について

%。理由は生活困窮や納付忘れ。直接訪問し集金分納の相談に応じている。

③今年度は保険料の軽減割合の拡大などで、安くなった方が多いのでは。

④人間ドッグはこの制度の中では実施されないのが特定検診を受診してもらうということになる。

⑤保険料の決定や資格確認は広域連合。保険証の申請受けや引き渡し、保険料の徴収は市で行う。



▲予定されている工業団地



三根 實 議員

筑水受益者の 負担の軽減を図れ

市長

小城市だけの問題ではない

問 筑後川下流土地改良事業の農家負担金、10a当り1,100円を市がどれだけ軽減を図れるのか、市長の考えにかかっていると思う。

答 小城市だけの問題ではなく、佐賀、多久、三市の合意が必要。我々も受益者の負担軽減で合意を取れるならば、目指していくが、調整をしなければならぬ。

里の牛尾山北面の工業団地、法面だけは市の所有で、平成18年にも災害工事が行われた。企業も法面は購入しない。平坦な場所に市が斡旋して企業を残すことを考えられないか。

工業団地予定地 3分の2は法面 だ

問 岩松地区に、8ヘクタール程の工業団地を作る計画があるが、この土地は3分の2が急傾斜地の法面だ。市が購入後、法面の管理という問題が出てくる。旧小城市時代、三

答 法面の管理は、用地を購入したところがすべきと思う。今、土地の調査をやっている。購入時に市が法面を排除するか、含めて買うのか、検討する。

江島佐知子 議員



放課後児童クラブ、ニーズにどう応える

教育長 時間延長、土曜日開設などを検討中

問 ①平日の時間延長や長期休暇時の開始時間の繰上げなど開設時間の拡大について。
②土曜日、学校行事による振り替え休日の開設について。
③負担金について。
④指導員の体制について、リーダー制とアウトソーシング(派遣)を導入して約一年になるが、成果と今後の課題は。
⑤今後施設は学校の空スペースで十分か。

答 ①要望も多い。施設管理のための整備と並行して対応したい。
②22年度からの実施に向けて拠点方式の方向で検討中。
③時間延長や土曜日開設など事業を拡大すれば応分の負担をお願いすることになる。



▲長期休暇中も開かれている放課後児童クラブ(牛津小)

④リーダー制の導入で組織的運営ができるようになった。月2回リーダー会議を開いて事務連絡、意見交換、外部講師を招いての研修などを実施し、指導員の資質向上や安全対策などを図っている。アウトソーシングへの切り替えで雇用事務を簡素化できたが、3年の期限があり、今後慎重に検討していく課題である。
⑤学校によっては余裕がなくなっているところもある。財政面、安全性も考慮しながら小城市方式を検討したい。



大坪 徳廣 議員

三日月地区市道整備について

市長 全市の市道路線の見直しを検討している

問 市道、熊寄・四条線は道路の機能を全く果たしていないが今後どう計画されるのか。

答 福所江川にかかつている石橋との関係もあり、道路自体は非常に狭隘な道路で実際道路としての整備をすべきかどうかも含めて検討する必要があります。

問 初田橋新設の件で利用する地区民、児童生徒が登下校時に危険にさらされ、交通事故が懸念されるが対応策は。

答 初田自治会から陳情書が出されている。国営農地防災事業所から



▲初田橋交差点

- 国道203号大寺横断歩道について
- 県道小城市津線甘木踏切東、私有地について
- 土生、戊線JR戊踏切東道について

その他の質問

関係機関と協議して検討すると回答されている。

問 国道203号五条交差点東道路は生活道路になっているが現在、新興住宅も増え交通量も多く鋭角の交差点で非常に危険であり道路拡張し市道として整備すべきではないか。

答 五条交差点付近の生活道路は狭隘な道路幅員などで交通安全問題はあると考えている。変形交差点が何差路にもなっている。複雑な交差点で危険な道路になり、なかなか難しいと思っ

定額給付金は現金給付できないか

市長 原則、預貯金口座振り込みで5月に給付

問 生活、景気対策として、国では定額給付金を用意している。市の計画は。

答 2月6日に実施本部を設置。対象者4万6,696人、給付金額7億1,860万円。経費は、事務費と人件費として2,370万円を計画している。子育て応援特別手当は850人で3,060万円、事務費163万円。

1万円から1万2千円のプレミアム商品券

問 地域活性化対策として全国の市町村ではプレミアム付商品券の発行を計画しているが当市の計画は。

答 当市が2千万円補助金を出して、1億2千万円分の商品券を小



高木 一敏 議員



▲新聞紙面を賑わせた定額給付金

商工会議所と牛津声刈商工会で扱う。500円券24枚で1セット。1万セット用意。1人3セットまで購入できる。

小城、牛津の雇用促進住宅、買い取れないか

問 雇用・能力開発機構は、小城、牛津の雇用促進住宅140戸の譲渡を希望している。市の対応は。

答 今、住んでいる方々を守る立場にある。今後、厚労省と協議し検討する。

たい方は、会議録が各町図書館にありますのでご覧下さい。
 議録の設置及びホームページ掲載は5月末の予定です。



諸泉 定次 議員

「子どもは小城市の宝」の方針が保育園民営化か

市長

財政健全化の基本計画で、すべて民営化方針

問 質の高いサービスを展開するためには、経験豊富な保育士が欠かせない。財政面だけ強調されているが、公立の良

い面と、国の財源補てんがあるのに、なぜすべての保育園の民営化をするのか。

全国的な虫歯減少に、フッ化物洗口は必要か

問

芦刈小でのフッ化物洗口と実施していない市内小学校では、実施していない学校の虫歯が少な

い。東京、千葉、神奈川、大阪などは、ほとんど学校でやっていない。市税を使って市内全小学校で何故、実施するのか。

答

佐賀県は虫歯が多い。行政一体でフッ化洗口をやってきた佐賀県の歯科衛生の特徴がある。保護者説明の際は、デメリットも説明する。

その他の質問

○雇用促進住宅の存続について

答 財政健全化の基本方針

で民営化の方針。公立の良さは一定水準のサービ



▲民営化が計画されている牛津保育園

経済不況と小城市財政

市長 税収の伸びは期待できない



深川 高志 議員

問 昨今の景気動向及び経済状況などから見る平成21年度予算編成の考え方、今後における税収の見通しと小城市財政健全化計画の推進及び行財政改革プランの考え方について。

答

今回は、骨格予算だが相当膨らんでいる状況である。今まで行政運営した中で、事業的に掲げて、中・長期的な財政計画にもなつて、基本的な事業もあわせて、今回予算として出している。

税収については、個人市民税については微増、法人市民税は、平成20年は平年をやや落ち込むが平成21年以降は業績の悪化による減収が見込まれる。固定資産税は、新築家屋による税収は見込まれるが、平成21年度からは、評価がえにともない、



▲財政厳しい小城市

地価の評価下落と家屋の原価などの影響で大幅な減収が予想されることから、平成21年以降、地域経済の悪影響を受け、税収の伸びは期待できない。小城市も改革プランを掲げて行財政改革をやっており、効果が年々上がっていると思う。改革プランについては、市報でも紹介しており今後も継続していく。

その他の質問

○学校教育、新学習指導要領への移行措置について



今村 昌幸 議員

骨格予算は、財政健全化計画に沿った編成か

市長 行政改革や歳入に見合った財政運営をする



▲収納対策課

問 最終章もあとわずか下水道の小城処理区重点事業の課題と効果「鑑往知来」見通し展望は

答 骨格に計上すべきと思うが、肉付予算の中で十分協議をしたい。

問 前年当初より約2億6千万円の減だが、経常的な商工会議所の補助など積残しが約16億円ある。税源は市債と基金のとりにくずし計画実現と財政の両立ができるか。

問 組織、機構の再編について、行政効果は

答 交渉を重ねてきたが結果的に着手に至っていない。地域の生活環境、水質改善などに影響もある。国のマニュアルに基づき見直しを急ぎ早期着手に取り組む。

は全く進展していない。住宅建設、土地の有効活用もできず町は衰退の一端我慢も限界。計画が形となつてこそ成果を実感するが、なぜできないか。

問 体制の強化を図り税収の向上、財源確保のため昨年4月に設置した収納対策課はなぜ1年で廃止するか。何を期待し、何が問題か。

答 徴収と課税は状況の把握が必要であり、統合の新体制としたい。



松尾 義幸 議員

有明海再生は、諫早湾の水門をあけること

市長 農水省に中長期開門調査をしっかりとお願いしたい

問 有明海再生について漁業振興をどう考え、対策を講じているのか。漁獲量の推移はどうか。

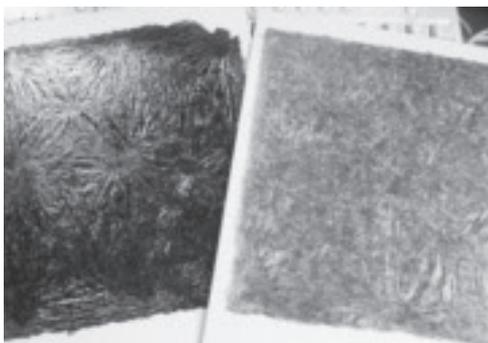
答 ノリ養殖業は、芦刈を有し、県内でも有数のノリ生産地。冷凍網の2回目の入札の時、有明海沿岸で色落ちがあり、今年は苦戦している。二枚貝類も大幅な減少が見られ、漁家の経営は極めて

不安定な状況にある。市として共同乾燥施設や冷凍庫の補助などに力を入れ、棧橋付近の泥土の除去やヨシの伐採などを現在計画している。

問 平成21年は、赤潮は発生していないと答弁されたが、1月9日に発生し、27日には六角川漁場にも赤潮が見ら

れ栄養塩が低下した。赤潮発生は2日前の1月7日に諫早湾の北部排水門が開けられ、300万トンの調整池の汚染水が有明海に放出された。漁民の間では、排水門の開閉と赤潮の発生が非常に関係していると重大視されている。有明海再生の道は、諫早湾の水門を開けて、海水を淡水湖に徐々に入れることではないか。

答 やはり、農水省に中長期開門調査をしっかりとお願いいただき、対応することが必要。



▲鹿島の今年の色落ちノリ (右)



平野 泰造 議員

芦刈小中の一貫教育は

教育長 小中一貫は十分やれる

問 地域の活力を生かした小中一貫教育の研究事業に取り組まれ2カ年が過ぎようとしている。①今後の進め方は。②職員室を一つにする一貫教育の一貫教育はできないか。

答 大きく2つの分野から検討、教育過程については、芦刈小中の教職員に作業部会を編成し検討を深めている。地域の支援を受けて取り組むコミュニティスクールのほうは20年の秋から実践

的な取り組みを進めている。②現時点では、芦刈小中の配置そのものが連携であり、芦刈中の耐震補強をし、芦刈小の改築を予定。将来的には職員室は一つにしたい。

問 子供達がすくすく育つ一貫教育を目指すべき。市長の考えは。

答 佐賀県でもこれだけ絶対負けない、全国でも有数な日本一を目指すような目標を持ち小城市内からでも、芦刈小中学校に入校してみたいといわれる学校にすることは定住促進につながる。そういう特化した一貫教育を模索したい。



▲芦刈小・中学校

金原 修光 議員



市内130施設の維持管理

市長 統合を進めると不便を与える



▲図書館：牛津分室

問 厳しい財政事情の中共同・共有性ができるものは、取り組むべきだ。図書館や4庁舎での空スペースの有効活用を。

答 統合を進めると不便を与える。図書館は現状で運営。庁舎のスペースは有効活用を図るため、貸し付けなど検討していく。

となる。園児達が利用できるようすべきだ。

答 園児がコミュニティバスを利用することはこれまで検討してない。今後、実証実験もやっていき検討したい。

問 園バス無理なら有効活用を

問 今年市内循環バスが見直され新たな運行

その他の質問

- ETC専用インター設置
 - 南部給食センター建設
- 事業



上瀧 政登 議員

循環型社会の構築を

市長 環境保護の率直的な行動に取り組む



▲再資源化に取り組む

問 21世紀は地球環境の保護と循環型社会の形成を目指すと言われているが小城市の取り組みは。

答 小城市地球温暖化防止実行計画と環境基本計画を策定し市民、事業者が一体となって積極的に環境問題に取り組む。ごみ処理体制の充実と減量化対策は大変重要な課題で資源物の分別収集の促進のために市民の協力を得たい。また廃食油の

有効活用にも取り組み公用車の燃料に使用する。

地域力の向上を目ざせ

問 老人会、婦人会、消防団などの団体数や会員数の減少に歯止めがかからない。現状では地域の力が弱くなる一方である。このままでは市政の繁栄と運営に支障がある。

答 婦人会員は激減している。女性消防団は充実しているが、男性消防団員は減少傾向にある。老人会も脱会が続いており会員数も減少に歯止めがかからない状態である。全国的な傾向と思われるが、時代に即した魅力ある組織を懇談会などを通じて再構築していく必要がある。

平成20年度議長交際費支出状況一覧

(単位:円)

区分	件数	金額	内 訳
弔 慰	12件	97,500	供花11件・香典1件
賛 助	2件	14,000	佐賀県児童生徒理科研究発表会 小城市議会議長賞(盾代) 中林梧竹翁顕彰書道展 小城市議会議長賞
接 遇	4件	42,500	関西むつごろう会の折(特産品寄贈) 福岡むつごろう会の折(特産品寄贈) 関東町人会(特産品寄贈) 西部リレーセンター視察時土産代
会 費	8件	141,000	三日月町商工連盟総会懇親会 小城羊羹協同組合懇親会 関西むつごろう会 関東小城の会 関東三日月町会 福岡むつごろう会 東京牛津町会 在京芦友会
その他	2件	7,954	J A さが佐城支部畜魂祭の折 小城羊羹協同組合総会の折
合 計	28件	302,954	

意見書

「雇用促進住宅の退去困難者への支援強化に関する意見書」が諸泉定次議員より提出された。

雇用促進住宅の廃止決定に基づく退去通知が出

されたが、退去困難者への相談体制の強化、期間の猶予など十分な配慮を求めらるもので、全員一致で可決した。

訂正とお詫び

16号(2月号)6ページ三根實議員の一般質問の記事に誤りがありました。訂正してお詫びいたします。

(誤) 懇親会

(正) 懇談会